

宇都宮市立宝木小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・主体的・対話的な授業を目指した、一時間ごとの授業準備、評価時間の確保	・月1回の金曜日5時間授業の放課後を授業準備の時間として確実に確保するとともに、教師が授業づくりや学習準備に使える時間を作り出すことで、質の高い授業を実施していく。	・国語や社会、音楽について好きと回答した肯定割合は、昨年度より増えていることから、教師が工夫した授業については楽しいと感じることができるようになってきた。しかし、全教科でないことや定着度調査の正答率を考えると十分達成できてはいない。
・家庭学習の習慣化・継続化への手立てや取り組み方の提示	・家庭学習の習慣化が図れるよう、家庭と連携した学習がんばり週間を年2回実施している。また、家庭学習の進め方を配付し、「わかる・できる・覚える」の3ステップでのやり方を明示し効果的に取り組めるようにしている。	・家庭学習は、しっかりできる児童とできない児童の二極化が進んでおり、効果が出ている児童とまだ表れていない児童に分かれている。家庭学習の習慣化が図れるよう、継続的な支援と個に応じた支援が必要である。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・学び合いや振り返り活動を効果的に取り入れ、児童が考えたり話したりする機会を確保し、主体性に学ぶ態度を育成していく。

・家庭学習については、学年に合った自主学習内容と目標学習時間を再確認し、学習に主体的に取り組めるよう指導していく。また、漢字や計算など既習内容を繰り返し学習することの大切さを年度初めにもう一度周知するとともに、家庭にも協力を呼びかけていきたい。

・読書する大切さ・楽しさを図書館司書と連携しながら指導し、朝の学習等で読書の時間を確保する。また、休日にも読書する時間がもてるよう家庭と連携して取り組んでいきたい。